

平成24年度自治体災害対策全国会議企画案

日時 : 平成24年12月12日(水)、13日(木)
 場所 : 兵庫県公館、兵庫県民会館(※初日公館、2日目県民会館)
 主催 : 「自治体災害対策全国会議実行委員会」
 共催 : (公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構
 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター
 後援 : 全国知事会、指定都市市長会、全国市長会、全国町村会、
 内閣府、兵庫県、神戸市ほか(予定)

テーマ : 「広域巨大災害に備える」(仮)

募集人員 : 約200名/日

原則として自治体職員

※ 初日は一般参加も可、第2日は自治体職員のみとするが、オブザーバー参加として、自治体OB職員・関係団体職員も可

参加費 : 5,000円(初日会議後の懇親会は、3,500円徴収)

※ 経費総額の縮減によって、参加費5,000円の減額を図るのが得策と考える。

内容 : 総合司会 初日:室崎・機構副理事長 2日目:五百旗頭・機構理事長

日	時間	テーマ	講師
第1日	13:00～13:15	開催あいさつ	井戸敏三 兵庫県知事、関西広域連合長
	13:15～14:25	基調講演： 「大災害復興過程の 比較検証の重要性」	五百旗頭 真 ひょうご震災記念21世紀研究機構理事長
	14:30～15:20	特別講演： 「原発災害に伴う行政 機能移転について」	今井 照 福島大学行政政策学類教授
	15:30～17:30	基調報告(3テーマ)：	※特別講演後10分休憩、1報告40分
	(15:30～16:10)	「自治体スクラム支援」	田中 良 東京都杉並区長
	(16:10～16:50)	「津波対策を踏まえた まちづくり」	大西勝也 高知県黒潮町長
	(16:50～17:30)	「沿岸被災地後方支援 プロジェクト」	本田敏秋 岩手県遠野市長
			※17:30初日閉会
	18:00～19:30	意見交換会	パレス神戸 挨拶：貝原・機構特別顧問

日	時間	テーマ	講師
第2日	09:30～10:00	進行説明等	※2日目分科会進行等説明
	10:00～12:30	3分科会 (各60名程度) 第一分科会 「新たな広域災害支援の枠組」 第2分科会 「津波に負けないまちづくり」 第3分科会 「広域防災拠点・後方支援拠点の整備・活用」	※分科会報告は1報告30分 2件計60分 ※基調報告、分科会報告に係る討議は、1争点当たり30分 計90分 ○報告者 ・「関西広域連合カウンターパート支援」 杉本明文・兵庫県防災監 ・「自治体スクラム支援の具体的な取組」 東京都杉並区危機管理室 ○コーディネーター： 中塚則男・関西広域連合事務局長 ○コメンテーター 鍵屋 一・法政大学大学院、大東文化大学 大学院兼任講師 (板橋区福祉部長) ○報告者 ・「津波対策を踏まえたまちづくり」 静岡県浜松市危機管理監 三重県防災対策部防災企画・地域支援課長 ○コーディネーター： 岩田孝仁・静岡県危機管理部危機報道監 ○コメンテーター 新川達郎・同志社大学総合政策科学研究科教授 ○報告者 ・「基幹的広域防災拠点」 静岡県危機管理監代理 愛知県防災局長 ○コーディネーター： 吉本義幸・兵庫県広域防災センター長 ○コメンテーター 福和伸夫・名古屋大学減災連携研究センター長 ※12:30～13:30 昼休憩
	13:30～14:00	特別報告： 「災害対策基本法の 改正について」	内閣府関係者
	14:00～15:00	各分科会報告	※分科会コメンテーターから報告。 各分科会20分 計60分
	15:15～15:45	全体総括	※分科会報告後15分休憩 室崎益輝 ひょうご震災記念21世紀研究機構副理事長兼 研究調査本部長 ※15:45閉会
	閉会后	見学等はなしとし、全国会議参加証提示による人と防災未来センターの 無料見学を配慮する。	